



1 はじめに

勝田中学校区では、平成27年度に勝田ひまわり園から梶並・勝田・勝田東の3小学校、勝田中学校へと子どもたちの15年間の学びと育ちをつなぐプロジェクトがスタート。翌年、梶並・勝田小学校が統合して『かつたつ子15の春プロジェクト』新体制が確立。平成29年度からは、このプロジェクトを基盤にさらなる一步を踏み出し、小中一貫教育の研究に着手しています。

2 取組の概要

① 組織づくり

15の春プロジェクト会議を中心に、「こころ部」「そだち部」「まなび・ゆめ部」「つなぐ推進」の4部会による取組をスタート。経営部会（校長）と運営部会（教頭）が4部会を統括し



第1回合同研修会

て、連携を推進しています。

② 合同研修会の開催（年3回）

園・小・中の教職員が一堂に会し、校区の子どもたちの学びと育ちの課題と対策を協議、共に課題解決に取り組む起点になっています。

③ 授業改善と相互研修

小中共有の授業モデル『かつたつ子授業のスタンダード』を原型に、主体的・対話的で深い学びを生む授業改善と研修に取り組んでいます。

④ 学びと育ちの連携表

学校・園と家庭で取り組む学びと育ちの指針を作成。家庭と連携してかつたつ子の社会を生き抜く力を育むことを目指しています。

⑤ 部会の活動

年度末には4部会のまとめと連携予定表を作成、第3回合同研修会で共有して、次年度の活動に生かします。連携をつなぎ、深めるための振り返りです。

⑥ 中学校「学びの時間」

火曜日の午後には小学校5、6年が中学校で小学校英語と算数の教科担任の授業を受けています。活力のある小学生とよきモデルの中学生をつなぐ実りの時間です。

⑦ カリキュラムをつなぐ

平成29年度に小中の学校教育目標を統一、英語を出発点に教科のカリキュラム接続を研究し

ています。

3 「15の春」がもたらすもの

ひまわり園での「育ち」を基盤として、小学校と中学校の「学びの心」と「学びの力」をつなぐ15の春。お互いのリスペクトが深いつながりを生み、かつたつ子の変容が地域に広がっています。このプロジェクトが子どもたちの確かな学力と自己有用感を育み、自立を促す。そのことが教育への信頼を培っていくと信じて、これからもかつたつ子の夢実現に向けて前進します。

（前年度勝田中学校長

西村 睦美）



中学校「学びの時間」（英語）